

小学校高学年以上・一般向け / 約22分

文部科学省選定 学校教育教材 / 高等学校生徒向き / 特別活動
社会教育(教材) / 少年・青年・成人向き / 人生設計(人生設計・生き方)

友だちと同じでなくてもいい 発達障害を乗り越えた西川さんの場合



指導者・保護者向け / 約26分

文部科学省選定 社会教育(教材) / 成人向き / 人生設計(人生設計・生き方)

発達障害をどう理解する? どう支援する? 特性を活かせる教育現場とは...



監修のことば



東洋大学
福祉社会デザイン学部
社会福祉学科 教授
是枝 喜代治

今、日本の教育現場では、発達障害の可能性のある児童・生徒は、通常学級の中に8.8%程度、高等学級では2.2%程度、その在籍が確認されています(2022年文部科学省)。

そこで、障害の有無にかかわらず、共に学ぶことを重視する「インクルーシブ教育システム」を推進するために、文部科学省は通常学級で授業を受けながら、必要に応じて対人関係の築き方などを別室で学ぶ「通級による指導(通級)」を重視しています。同様に、特別支援教育に関する専門的な知識や指導技術を持つ教員の養成も急がれています。特別支援教育の経験者を増やし、円滑な授業や学級運営につなげることを狙いとして、文部科学省は「新規採用の教員が、10年以内に特別支援学級などで2年以上経験を積むこと」を求める通知を出しました。

また、地方自治体の判断によって地域でインクルーシブ教育システムを推進していく施策も進められています。神戸市教育委員会では、5歳児から高校生までの配慮が必要な子どもの相談窓口を一つにした「特別支援教育相談センター」を設置し、保護者の相談に応じたり専門家を派遣したりして教育現場を支援しています。本作では発達障害のある当事者の方とその家族、関係者へのインタビューを基に、発達障害の正しい理解と彼らに対する向き合い方について紹介しています。この作品が発達障害のある方への理解と支援の一助となれば幸いです。

企画意図

文部科学省の調査発表によると、発達障害の可能性がある小中学生は通常学級に8.8%、11人に1人の割合で在籍しているそうです。発達障害は年々社会的に認知され、2000年代から全ての子どものニーズに応えられることを目的に「インクルーシブ教育システム」が推進されています。しかし一方で、学校のシステムが追いつかず個別のニーズに応えられなかったり、周囲の理解が足りずに苦しむ子どもやその保護者、指導者は少なくありません。

そこでこの2作品は、発達障害の特性について解説し、発達障害当事者である西川幹之佑さんと周囲の方々へインタビューします。『友だちと同じでなくてもいい』では、幹之佑さんが発達障害の特性によってどのような生きづらさや悩みを経験し、向き合ってきたかを聞き取りながら、その実例を通して、自身の特性に悩む子どもたちに「障害の有無にかかわらず、特性は個性であり、あなたはそのままがいい」ということを示唆する内容になっています。『発達障害をどう理解する？どう支援する？』では、作品を監修された是枝先生から、発達障害に関する解説や、日本の教育現場が目指すべき子どものための環境作りについて伺います。また、幹之佑さんの周囲の方々（学校の恩師や母親など）に話を伺って、特性がある子どもとの向き合い方を考えていきます。

小学校
高学年以上・
一般向け

約22分

文部科学省
選定

友だちと同じでなくてもいい 発達障害を乗り越えた西川さんの場合

■西川幹之佑（にしかわ・みきのすけ）さんの場合

大好きなことをとことん突き詰め、充実した大学生活を送る西川さん。しかし、ここに至るまで発達障害の特性による困難とたくさん向き合ってきた。

■発達障害の特性とは？

発達障害は、生まれつき脳の機能の発達に偏りがあることで行動などに特性が表れる。障害と呼ばれるが病気ではなく、本人の努力不足によるものでもない。興味のあることに優れた才能を発揮することがある一方、それ以外のことに集中するのが難しい一面がある。その他、「読み書きや計算が思うようにできない」「あらゆることに気が散ってしまい、注意力がない」「人とのコミュニケーションがうまくいかない」などの特性がある。

■西川さんのこれまでと、これから

小学校入学前から何度も病院での受診を重ね、「発達障害があ

る」と診断された西川さん。漢字を書く・計算をすることが極端に苦手、忘れ物が多い、怒り出すと自分をコントロールできない、などの様々な特性を抱えている。成長したいのに、失敗する。挫折を繰り返す日々を苦しみ続けていた。西川さんのこれまでの経験から、特性による苦悩や、いかに自律してきたのかを詳しく教えてもらう。

■まとめ

人には誰しも、多かれ少なかれ特性がある。強い特性を持つ人に冷たい視線を送るのではなく、お互いに「そのままがいいよ」と声を掛け合える社会を目指そう。

■ライブラリー価格 本体¥68,000(税込¥74,800)

■学校価格 本体¥33,000(税込¥36,300)
(小学校・中学校・高校のみ)指導者・
保護者向け

約26分

文部科学省
選定

発達障害をどう理解する？どう支援する？ 特性を活かせる教育現場とは…

■発達障害の特性とは？

発達障害の特性は人により様々で、学習上の機能に課題がある学習障害、行動や情緒的な問題を抱える注意欠陥多動性障害、人とのコミュニケーションに課題を抱える自閉スペクトラム症などがある。発達障害を持つ人の中には、生きづらさを抱えながら、医療診断を受けていない人も少なくない。

■学校生活でのサポート

大学生の西川幹之佑さんは、発達障害の特性に苦しんできた一人。西川さんの小学校生活の経験から、どのようなサポートが行われたのを見ていく。

■特性と向き合うサポート

西川さんは中学校へ入学し、大きな転機が訪れた。自分の特

性と向き合う方法と、感情をコントロールできるということを学んだ西川さん。高校はイギリスに留学し、中学校での教えを実践する場となった。将来は、自分と同じような悩みを持つ子どもたちのロールモデルとなることが目標だという。

■まとめ

発達障害への理解を深め、子どもたち一人一人の特性を知り、「そのままがいいよ」と声を掛けること。そして、子どもたちがそれぞれの希望に沿った豊かな生活を送るためにサポートを行うこと。そのための環境づくりが強く求められている。

■ライブラリー価格 本体¥68,000(税込¥74,800)

監修 東洋大学 福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 教授 是枝 喜代治

企画・制作統括 高木 裕己 脚本・演出 二木 まさ美

プロデューサー 堤 謙一 撮影 照屋 真治

制作・著作 株式会社 映学社

■DVD [カラー] ■2024年・映学社作品

○ 株式会社映学社が製作する映像、DVD、ロゴ、イラスト、チラシ、ウェブサイト等全ての著作物の著作権は、映学社もしくは関係権利者の著作権者に帰属しています。これらの著作物を権利者の許諾を得ずに、複製、転載、改変、譲渡、配布、公衆送信（送信可能化を含む）、放映等に利用することは原則として法律により厳しく禁止されています。

○ 本チラシで紹介しているDVDは、DVDビデオディスクです。CD-ROMプレイヤーではご覧になれません。必ず市販のDVDビデオプレイヤーでご覧ください。



株式会社 映学社

EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729(代表) FAX: 03-3359-4024
info@eigakusya.co.jp
https://www.eigakusya.co.jp/

●お問い合わせ、お買い上げは……